

で開催することになっている。従って昭和48年度は、東北支部であり、東北支部長と気象台当局の了解を得たので、東北支部の当番としたい。

議長が採決した結果全員賛成で東北支部と決定した。

(以下 373 ページの続き)

- ・上田 豊 (名大地球科学)  
東南極白瀬水河流域の質量収支についての水圏科学的  
研究  
「南極資料」ほかに分割して発表予定、
- ・藤井理行 (名大地球科学)  
山岳氷久凍土に関する地球科学的研究  
Nature ほかに分割して発表予定。
- ・大西晴夫 (京大地球物理)  
積雲対流のパラメタリゼーションに関する研究  
未発表
- ・吉門 洋 (京大地球物理)  
海陸風循環の数値実験 未発表
- ・井上治郎 (京大地球物理)  
高山における雪面上の熱収支 未発表
- ・佐藤和秀 (京大地球物理)  
積雪の熱的性質について——南極氷圧エンダービーラ  
ンドにおける解析——「南極資料」に発表予定
- ・高橋政和 (京大地球物理)  
広域大気拡散の研究 未発表
- ・宮原三郎 (九大物理)  
大気潮汐に対する熱拡散の影響 未発表
- ・神品達雄 (九大農業工学)  
ソルゴ群落における放射関係 未発表

## 2. 気象大学卒業論文

議長 以上で予定された議事全部終った。時間の関係で議事の進行を急ぎ、また不手際があったことをお詫びする。ご協力ありがとうございました。

(いずれも未発表)

- ・江口一平  
降水の化学成分 ( $\text{NO}_2^-$ ,  $\text{Cl}^-$ ,  $\text{NH}_4^+$ ) について
- ・小柴 厚  
地震断層モデルについての 2, 3 の考察、
- ・斎藤利夫  
蔗糖, ブドウ糖, 果糖の水溶液中での氷晶の成長につ  
いての実験的研究
- ・阪本孝広  
空盒の温度特性
- ・相良 格  
西太平洋における地震放出エネルギーと地殻熱流量の  
関連
- ・杉本清秋  
東京都における高濃度大気汚染と気象条件
- ・竹内 新  
日本列島付近における起震応力について
- ・塚越利光  
表面波理論と地球の非弾性について
- ・見立陽一  
日本海の海底地形
- ・元木敏博  
氷晶核の実験的研究・キド類フッ化物について
- ・山本二郎  
地上附近の温度分布の数値計算

## 第 16 期第 19 回常任理事会議事録

日 時 昭和47年4月17日(月) 15.00~18.00

場 所 気象庁観測部会議室

出席者 山本, 大田, 関口, 関原, 神山, 小平, 川村,  
北川, 藤原, 伊藤, 大井, 各常任理事

列席者 窪田長期計画委員長, 清水選挙管理委員長  
中村, 鈴木各庶務委員

報 告 (抜萃)

[庶務] 1. 3月27日(社)日本建築学会から第2回構造物の耐風性に関するシンポジウム開催に協力方の依頼がきた。委員には前回と同様相馬清二(気研)光

田 寧(京大防災研)塩谷正雄(日大)各会員に依頼した。

2. 4月5日,(財)松永記念科学振興財団理事長から昭和47年度松永賞候補者推薦の依頼がきた。締切6月30日

3. 4月14日, 特許庁長官へ, 特許法第30条の規定に基づく指定学術団体の活動状況報告を提出した。

4. 4月4日, 地方公共団体等(公害関係)へ入会のおさそいを発送した。現在までに3名の入会申込みがあった。(以下 342 頁に続く)